

『輝け雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2024年 8月
第98号

幸せなら手をたたこう♪



7月20日 みんなの食堂

(暮らしの安心センター横特設会場)

- P 2 第2回定例会 主な議案・補正予算
- P 4 町政を問う 6名(8件)が一般質問
- P 7 常任委員会報告 請願・陳情
- P 8 常任委員会の新たな所管調査事項
- P 10 みんなの広場 社会福祉協議会にインタビュー



沼田町議会 検索

令和6年 第2回 定例会

6月18日～19日

令和6年第2回定例会が上記の日程で開催され、総務民教建設常任委員会の所管事務調査報告をはじめ、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、6名の議員が8件の一般質問を行いました。

上程されたおもな議案

以下の議案について、全会一致で同意、承認されました。

■専決処分の承認を求める件

令和5年度決算における不用額の整理など

■沼田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について

一般会計の補正予算

令和6年度一般会計の予算を6110万円追加し、総額を55億9260万円とする補正予算を承認しました。以下は主な事業となります。

■再生可能エネルギー推進費

太陽光発電設備設置奨励金

50万円増

■低所得者支援及び定額減税補足給付金

2012万円

■感染予防対策費

新型コロナウイルスワクチン接種委託料

1951万円

接種費用 15,300円			
定期接種 65歳以上	基金管理団体助成金 8,300円（令和6年のみ）	町負担 4,000円	接種者自己負担 3,000円
定期接種 64歳以下	町負担 10,300円		接種者自己負担 5,000円

■町立沼田厚生クリニック医療機器購入助成金

110万円増

■沼田学園推進費

部活動地域移行推進協議会

17万円

特別会計の補正予算

■養護老人ホーム事業（和風園）

基金への積立

1541万円

和風園、グループホームなごみ、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険の各特別会計と水道事業会計の補正予算を承認しました。

沼田町名誉町民の決定について

名誉町民の称号は、沼田町の町政振興に寄与され顕著な功績がある方に贈られるものです。このたび、次の方を名誉町民とすることに同意しました。

・金^{かね}平^{ひら}嘉^{よし}則^{のり}氏

人権擁護委員の諮問について

現人権擁護委員の任期満了に伴い、次の方が推薦され同意しました。

・谷^{たに}口^{ぐち}勲^{いさお}氏（再任）
・加^か藤^{とう}早^さ苗^{なえ}氏（新任）

選挙管理委員及び補充員の選挙について

選挙管理委員の改選期にあたり、議長からの指名推選によって選挙をおこない、次の方々に決まりました。

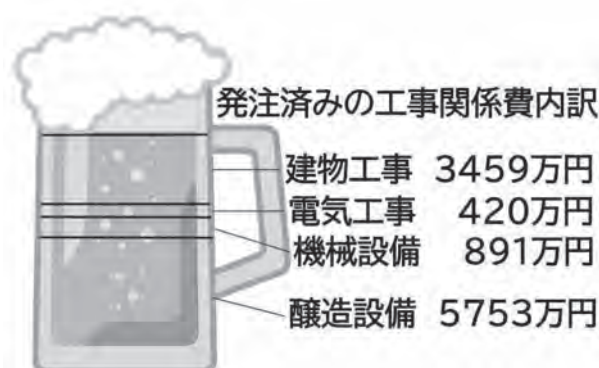
・選挙管理委員
生^{おい}林^{はやし}宮^{みや}谷^{たに}氏
沼^{ぬま}脇^{わき}水^{みづ}氏
篤^{あつ}哲^{てつ}英^{ひで}敏^{とし}氏
司^し也^{やか}樹^き和^{かず}氏
氏氏氏氏氏
・同補充員
繰上1位 池^{いけ}山^{やま}篠^{しの}高^{たか}氏
繰上2位 川^{がわ}本^{もと}原^{はら}野^の氏
繰上3位 和^{かず}孝^{たか}氏
繰上4位 男^お司^し毅^{たけし}也^{かず}氏
氏氏氏氏氏

クラフトビール工場の建設が始まりました

6月24日に安全祈願祭が執り行われ、クラフトビール工場の建設が始まりました。建設に係る工事費の内訳は右の通りです。

工 事 標 識	
工 事 名	クラフトビール工場新築工事
発 注 者	沼 田 町
設 計	株 式 会 社 ア キ バ 設 計
工 事 期 間	令和6年5月31日～令和6年11月31日
建築主体工事	寺岡・広進経常建設共同企業体
電気設備工事	西 口 電 気 株 式 会 社
機械設備工事	松 尾 住 設 株 式 会 社
機械導入工事	ナ ラ サ キ 産 業 株 式 会 社
工事期間中、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力お願い致します。	

石狩沼田駅横の現場に掲示された看板



今回の傍聴者は4名です



YouTube再生回数
267回でした

沼田町議会の定例会はライブ配信で！

スマホやパソコンからYouTubeを使って見ることができます。

生中継なので議会の開会中にぜひご覧ください。もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーにあるテレビでも視聴することができます。



町長は町民との対話に努力していると思う。
少ないと思う議員は具体策を示すべき。
定額減税より消費税を下げるのが今は必要。
(60代男性)

町長、教育長への

一

般 質 問



伊藤 淳 議員

情報のデジタル化で効果的な発信を

導入コストや管理方法を今後の検討課題とする



横山 茂 町長

伊藤

現在は情報のデジタル化が欠かせない上に、町の情報提供に有効と考える。

町民が立ち寄る機会が多い場所にデジタルサイネージ(電子掲示板)を設置して多様な情報発信を効果的にできないか、町長に聞きたい。

次に、本町の歴史や化石の資料が持つストーリーを可視化させるため、デジタルで教材化することができないか、教育長に聞く。

町長

本町では、メールやSNSを活用して情報発信の改善に努めています。デジタルサイネージの活用については、導入コストや管理方法など今後の検討課題としていきたいと考えます。

状況を見ながら資料のデジタル化を進める



三浦 剛 教育長

教育長

今後資料のデジタル化が必須になっていくと考えます。化石を含む町の文化財をスマートフォンでも見やすいような情報発信に取り組んでいきます。すべての資料のデータ化には、状況を見ながら検討を進めます。



久保 元宏 議員

沼田町はなぜ全国ブランドになり切れないのか

知恵とアイデアを重視して対応したい



横山 茂 町長

久保

沼田町のブランディング戦略を進める上で、限られた財源と人員の中ではあるが、テレビCMなどを活用する考えは無いのか。

ブランディングの手法として、すでにあるブランドに乗っかる方法もある。幌新地区に投資をするからには、第一寶亭留のブランドを活用するのが効果的と考えるがどうか。

役場機構にブランディング活動を統括する戦略室が必要ではないか。

町長

テレビCMや広告看板もPR素材の一つではありますが、費用面を考えるとSNSやさまざまなメディアの活用が有効だと考えます。

(株)第一寶亭留はほたる館の指定管理者の立場であり、これまで親しまれてきた「ほろしん温泉ほたる館」の名称を変える考えはなく、今後も体験観光の拠点施設として集客に努めたいと思います。

役場の機構に問題はないと考えますが、業務が増えてきていることから横の連携を密にして対応していきたい。



ほたる館のほたるの里オーソートンキヤン地域おこし協力隊員



篠原 暁 議員

子どもの視力低下への対策は

デジタル機器使用ルールの啓発を進める



三浦 剛 教育長

篠原

文科省による「児童生徒の近視実態調査」では、近視を発症する要因が増加している。全国の養護教諭の団体による報告では、視力1.0未満の子どもの割合が増えている。

沼田町では小中学生の視力の実態はどうなっているか。その原因をどう分析しているか。また、目の健康に良い活動は何か取り組んでいるか。

町長への篠原議員のその他の質問

問 地方自治法改定に町はどう対応するのか

答 事前に十分協議するよう国に申し入れる

問 「無縁遺骨」をなくすためには

答 包括支援センターで対応している

教育長

今年度の小中学生の視力の実態は、1.0未満が小学生では5割、中学生では4割となっています。

原因は、デジタルデバイスの使用もありますが、家庭での生活環境の変化による影響も大きいと考えます。

対策としては、タブレット使用のルール徹底と保護者への啓発が重要と考え、就学前から子どもたちの視力の実態を把握し、家庭と連携して目の健康維持に努めます。



上野 敏夫 議員

町民との更なる対話を

さまざまな手法を使い対話を進める



横山 茂 町長

上野

将来の人口減少が心配される中、公共交通、農業後継者、身近な商店の閉店など、沼田町も多くの課題を抱えている。

町民の不安を取り除くためにも、懇談会での対話が重要だが、参加者が減っている。町民の声をまちづくりに反映させるためには、積極的に団体や町内会の行事に出向いていく姿勢も必要ではないか。

町長

懇談会の参加人数は多いとは思っていませんが、この春からは会場や手法を変え、説明会ではなく私たちが聞く環境を作ろうと工夫しています。今後は各団体にも出向いて意見を聞き、行政に反映したいと思います。

特に若い人たちとの懇談は、ITを活用したオンライン方式などにも取り組んでいきたい。





長野 時敏 議員

道の駅で人流増大作戦を

町民の意見を聞きながら活性化に向けて進める



横山 茂 町長

長野

令和8年3月にＪＲ留萌本線の石狩沼田駅から深川駅間が廃止となる。そこを人流呼び込む好機と捉え、官民一体となって駅周辺エリアを道の駅として整備を進めるのが良いのではないかと。

廃止になったレールの活用には、お金をかけずにトロッコやレールバイクを走らせてはどうか。ロードマップを作成してまず試験走行をおこない、手応えを見てから考える方法で、町民の声を聞きながら一歩前に進んではどうか。

町長

駅周辺エリアが町の顔であるということは認識していますが、さまざまな施設を一気に集約することは困難です。町民の意見を踏まえ、駅舎等の活用方法を検討し、周辺の活性化を図りたいと考えます。

廃止区間の全線活用は維持管理の面からもハードルが高く、町の負担も増えるため難しいと考えます。仮に踏切間でのトロッコ走行なら検討できると思います。

現状では除雪に支障が出るという指摘があり、ＪＲ北海道には踏切の舗装を要請しています。



大沼 恒雄 議員

定額減税後の町の支援策は

国の動向も見据えながら対応する



横山 茂 町長

大沼

令和6年の税制改正で、政府はデフレ脱却に向けた経済政策として定額減税を実施した。それに関わって、給与計算の事務負担が増えると思われる。

給与計算事務は自営業者にも関わってくる。もし、給与会計システムを導入するところがあれば支援することはできないか。

今後も物価上昇が続く場合、町民が安心して生活するためには定額減税だけでは足りないと思う。町の支援も必要と考えるがどうか。

町長

職員には、これまでの課税事務に新たに定額減税の事務が加わり、併せて給付金の対象者を抽出することでより複雑な事務処理が増えま

す。大変な状況ではありますが、今後も適切に対応していきます。

商工会によると、現状において商工業者から定額減税に関する会計システム導入の問合せはないということです。定額減税は国の施策であり、事務的に支援が必要であれば国が実施すべきものと考えます。

現在の経済状況を考えると、可処分所得を増加させることが景気浮揚につながるとは思います。町としては今後の国の動向も見据えながら支援していく考えです。



総務民教建設常任委員会 所管事務調査報告

「地域資源を活用した生涯学習について」

(1) 文化財の収蔵と活用について



報告する大沼恒雄委員長

収蔵センターが整備されたとはいえ、貴重な資料を保存するための光や空調など収蔵環境に不十分な点が残されています。次の世代に確実に伝えるための改善を望みます。

施設内での展示についても工夫の余地が見られます。収蔵と展示のスペースを区分し、展示においては個々の資料が持つストーリーが可視化されることを望みます。



文化財のミニ展示

ゆめっくるのロビーなどでミニ展示として資料を活用する取り組みも始まっていることは評価できますが、テーマを変え定期的な開催を行い、収蔵センター訪問への動機づけとすることが望まれます。

(2) 生涯学習とそらち自然学校の連携について

豊かな体験活動は、豊かなコミュニティ意識の向上につながり、現在の教育が抱える様々な問題解決の糸口となっています。生涯学習の推進は、自然体験に取り組んでいる「そらち自然学校」のプログラムを活用することで、幅広い世代のコミュニティを高めることが出来ます。自然体験を積極的に取り入れた豊かな生涯学習の実現につなげることを望みます。（一部抜粋）

陳 情 ・ 請 願

- (1) 生涯を通じた歯科検診の実現を求める意見書提出を求める陳情について
- (2) 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める陳情について
- (3) ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書提出を求める陳情について

上記の3件について全会一致で承認し、関係機関に意見書を提出しました。

臨 時 会

5月2日に第2回臨時会が開催されました。

■専決処分の承認を求めることについて

1. 町税条例の一部を改正する条例（令和6年能登半島地震災害に係る雑損控除等の特例）
2. 町税条例の一部を改正する条例（令和6年度分の個人の町民税の特別控除 他）
3. 沼田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■一般会計補正予算

個人住民税関連システム改修業務委託料 149万円

常任委員会の所管事務調査事項

総務民教建設と産業福祉の二つの常任委員会が、新しいテーマの元に活動を始めたのでその概要を紹介します。

総務民教建設常任委員会

「平和の文化の継承」

来年は戦後80年になります。町民一人一人が平和について考え行動することが重要であり、平和の文化を根付かせるにはどのような方策があるかを調査します。

11月には、道外視察の予定です。

産業福祉常任委員会

「農業関係人口を維持する政策ビジョン」

農業人口の減少が進む中、新規就農対策や農業に関連した新しい産業創出で農業を活性化させ、関係人口を増やすことにより、今後のまちづくりに活かす取り組みを調査します。

道外視察 7月17日～19日

・岡山県 みのる産業(株)

田植え機生産工場を視察



・岡山県 吉備中央町

ピオーネ（ぶどう）を中心とした新規就農制度



・香川県 社会就労センター協議会

農福連携 障がい者雇用をしているJAの選果場



・淡路島 北淡路農泊連絡協議会

農泊の取り組みと6次産業化



議員研修会

以下の研修会に参加し、研鑽を深めました。

全道町村議会議長会議員研修会

7月2日、札幌市のコンベンションセンターにおいて開催。

講師：気象予報士 ^{もり}森 ^{あきら}朗 氏

「札幌が東京より暑くなる！？」

～加速する気候変動～

講師：元衆議院議長 ^{おおしま}大島 ^{ただもり}理森 氏

「人口減少と市町村の重要性・民主主義
について自省を含めての所感」



空知町村議会議長会議員研修会

7月10日、上砂川町の町民センターにおいて開催。

講師：総務省統計局統計情報利用推進課

統計利用研究官 ^{ながふじ}長藤 ^{ひろあき}洋明 氏

「地方議会におけるEBPMの推進について
～e-Statを使って我が国経済・社会をみる」



北空知議長会議員研修会

7月26日、秩父別町において開催。

講師：北翔大学大学院 生涯学習学研究科

教授 ^{ちさと}千里 ^{まさふみ}政文 氏

「これからの地域防災」

身の回りにある段ボールを使ったベッドなど
実演を交えながらの講演。



退任議員との交流

7月22日、現職議員が退任議員の胸を借りるパークゴルフ大会を開催し、交流を深めました。
団体戦はやはり退任議員の厚い壁に阻まれました。



青空に向かってナイスショット！

個人の成績は次の通りです。

優勝	^{つがわ} 津川 ^{ひとし} 均
準優勝	^{すぎもと} 杉本 ^{くに} 邦雄
3位	^{いとう} 伊藤 ^{じゅん} 淳

みんなの広場

今回は、令和4年より地域共生社会を目指して「みんなの食堂」を開催されている、社会福祉協議会のおおはらまちこ大原眞智子さんにインタビューしてきました。



大原さんと片岡事務局長

Q： 「みんなの食堂」事業を始めようと思われたきっかけを教えてください。

大原 とにかく社会福祉協議会を町民の皆さんに知ってもらいたいと思いました。そのためには老若男女に受け入れてもらえるものは食と考え、調理して提供できるので始めようと思いました。

Q： 「みんなの食堂」のネーミングはどのようにして決めましたか？

大原 中学生にネーミングの募集をして、その中から採用しました。

Q： 食堂の運営はボランティアの方が中心とお聞きしましたが、その方々をどのように集めているのですか？

大原 はじめは声をかけられる方をお願いしていましたが、今はチラシを出したり担当課にお願いしたり、地域おこし協力隊にも要請しています。どなたでもお手伝いいただけますのでぜひご参加をお願いします。

Q： 大原さんをはじめボランティアの方々の継続へのモチベーションは何ですか？

大原 とにかく美味しいといっただけの笑顔がうれしいです。特に高齢者さんの楽しそうに食べている姿を見ていると、やって良かったと思います。

Q： 今後のお考えをお聞かせください。

大原 これからはボードゲームを取り入れて、若い世代も巻き込んでいきたいと思っています。移動型の「みんなの食堂」で地域のイベントに出向いてPRするなどしてみたいです。



夜高太鼓、歌声&ウクレレサークルの演奏を聴きながら、みんなで楽しくジンギスカンパーティー。

あとがき

今年も暑い夏になりました。熱中症対策ドリンクなど予防も含めさまざまな暑さ対策グッズが販売されています。手軽に購入できるので、ぜひ活用してこの夏を乗り切っていただきたいと思います。

夏は特に足がつりやすくなります。おもな3つの原因は、水分不足、ミネラル不足、エアコンなどによる冷えです。十二分に水分とミネラルの補給をして、エアコンの温度管理に気をつけてください。

皆さまの健康と、令和6年夜高あんどん祭りの成功を祈って・・・

よいやさ〜〜！

広報特別委員

篠原 暁 三浦 実希
畑地 誉 伊藤 淳